

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		法令遵守したスペースは確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	6		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員もしくは保育士を配置しております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			事業所が2階にあり、室内はバリアフリーになっております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎朝、支援前に職員全員で清掃・消毒を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		毎朝、ミーティングを行っております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		毎年、事業所評価を行い、改善に努めております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページや事業所内に掲示し、結果を報告しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		現在、検討中です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		社内研修や市役所主催の研修、障害者支援センターなどの研修に参加しております。	
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		毎年、受付シート、アセスメントシートに最新の情報を記入しております。	

援 の 提 供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		太田ステージ・NCプログラム・コグトレ等を使用し、支援プログラムに取り入れております。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		最新の情報に差し替えております。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		個別支援計画に沿って支援を行っております。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員全員で行っております。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6		月に2回、年長児を対象に小集団療育を行っております。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎朝、全員でミーティングを行っております。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	支援終了後にできる限り、共有できるようにしております。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		誰が見てもわかるように記録をしております。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		6ヶ月ごとに行い、計画の見直しなどを判断しております。		
	関 係 機 関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者が参加しており、他の機関と連携を図っております。	

や 保 護 者 と の 連 携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		こども発達支援センターやこども相談センターなどと連携を図っております。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	現在は該当するお子様はおりません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	協力医には年に2度訪問し、報告を行っております。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		サービス担当者会議などに参加し、情報を共有しております。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		学校公開日などの見学する機会を頂き、情報を頂いております。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		こども発達支援センター主催の研修会などに参加し、連携を図っております。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6		現在は行われておりません。
保 護	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		毎回支援終了後に保護者様にフィードバックの時間を設けております。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		年中児から小学校低学年の保護者様を対象に行っております。	
保 護	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に説明を行っております。	

者 へ の 説 明 責 任 等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		児童発達支援管理者責任者が説明し、同意を得ております。		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		毎回来所時に保護者様に声掛けを行っております。		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		年に1回、保護者研修会を開催しております。		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談窓口を設置し、相談業務を行っております。		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		月に2回ホームページを更新したり、LINE配信をしております。		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			個人情報の取り扱いについて全職員注意しております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		掲示をしたり、声掛けなどを行っております。		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	6			地区の防災訓練などに参加しております。	
	非 常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		各種マニュアルを作成しております。感染症委員会を設置し、月に1回研修会を行っております。	
		42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月、訓練を行っております。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		面談時に伺っております。		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		面談時に伺っております。		
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		少しでも気になることは情報共有		

				し、気を配っております。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止委員会を設置し、年1回は虐待研修を行っております。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		相談事業所、保護者様と会議をし、個別支援計画に記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」藤枝ついじ校

保護者等数（児童数）： 13人回収数： 割合： 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3		1	隣の声が聞こえる。 もう少し広い方がいい。	法令遵守したスペースは確保しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12		1		話をよく聞いてくれる。	できる限りお応えできる物が対応させていただいております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	3				パーティションを置いたり、視覚的にわかりやすくしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1			建物が古い。	施設内や共有スペースは毎朝、職員全員で清掃・消毒を行っています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12			1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	3	1		飽きずに楽しく活動している。	毎回、支援内容が同じにならないよう工夫をしております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	3	2		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	2		2	保護者勉強会やペアレントプログラムなどを行っております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12		1		モニタリングとは別に相談業務を行っています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2		1	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				室内に掲示したり、LINE 配信しております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1		1	こちらからの情報伝達や活動報告をブログやLINE 配信をしています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	1			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	1			各種マニュアルを完備し閲覧できるようにしてあります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13				毎月、玄関付近に掲示し、職員全員で訓練を行っております。子供たちは、毎年3月に訓練を行っております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2			毎回子供たちが楽しく取り組めるように工夫をしています。

23	事業所の支援に満足しているか	10	3				
----	----------------	----	---	--	--	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。